

# 坂城町内遺跡発掘調査報告書2013

—平成25年度試掘・立会い調査報告書—

2014.3

坂城町教育委員会

## 例　　言

- 1 本書は長野県埴科郡坂城町における開発事業に伴う、平成25年度の町内遺跡の試掘調査及び立会い調査の報告書である。
- 2 調査の費用は、国庫の補助金及び町費にて対応した。
- 3 調査の体制

担当者 青木 昌也（文化財センター所長）、時信 武史（坂城町教育委員会学芸員）  
協力者 朝倉 妙子、天田 澄子、坂巻ケン子、萩野れい子（以上、町臨時職員）
- 4 事務局の構成

教育長 宮崎 義也  
教育文化課長 柳澤 博  
文化財センター所長 青木 昌也  
文化財係 時信 武史  
赤池 利博、朝倉 妙子、天田 澄子、坂巻ケン子、  
中沢 あつみ、萩野れい子（以上、町臨時職員）
- 5 本書の執筆・編集は青木・時信が行った。
- 6 本書及び調査に関する資料は、坂城町教育委員会の責任下において保管されている。

## 凡　　例

- 1 本文中の面積は、開発対象面積と調査面積を記載し、( ) 内に調査面積を記載した。
- 2 掘図の縮尺は、各図に縮尺を示した。
- 3 報告書抄録に記載された北緯・東経の座標値については、平成14年4月1日から施行された測量法改正に伴う、世界測地系に基づいた数値を記載した。

## 目　　次

例　　言  
凡　　例

第Ⅰ章　坂城町の遺跡の立地と環境.....	1
第1節 地理的環境.....	1
第2節 歴史的環境.....	1
第Ⅱ章　試掘調査の結果.....	6
1 金井遺跡2 .....	6
2 大木久保遺跡I .....	8
第Ⅲ章　立会い調査の結果.....	14
報告書抄録	

# 第Ⅰ章 坂城町の遺跡の立地と環境

## 第1節 地理的環境

坂城町は北信地方と東信地方の接觸点にあたり、善光寺平を構成する更埴地方の最南端に位置する。町の地形は、中央部を貫流する千曲川の氾濫によって形成された氾濫原と、千曲川に流れ込む小河川がつくりだした扇状地によって形づくられた小盆地（坂城盆地）に特徴がある。町の北から東にかけては五里ヶ峰・大峰山・虚空藏山をはじめとする標高1100～1300m前後の山々が連続し、千曲市・上田市との市町村界を形成し、西は大林山、三ツ頭山などの標高1000m前後の山々が連続し、千曲市・上田市との市町村界となっている。南は千曲川右岸の岩鼻と左岸の半邊の岩鼻が狭隘な地形を形成し、上田盆地と隔てられている。このような地形から、古来よりこの地域は千曲川流域の要衝の地として注目されてきた。

この地域の気候は、南北に開けた小盆地状をなしていることから、季節風の影響を受けやすいため、夏季は南風、冬季は北風が強い。また、盆地状になっていることから寒暖の差が大きい。降水量は少なく、日本で最も雨量の少ない地域の一つとされている。現在では、この気候も関連し、工業が主要な産業となっており、農業では、りんご・バラ・ぶどうの栽培が盛んである。

## 第2節 歴史的環境

ここで、坂城町の各時期について代表的な遺跡を挙げながら、町の歴史的環境について概略的にふれておきたい。（括弧内の数字は3、4ページの坂城町遺跡分布図における遺跡番号を示す）

坂城町で最古の遺物は、約14,000～15,000年前の後期旧石器時代の上ヶ屋型彫刻器とされる石器である。この石器は南条地区の保地遺跡（3-1）より採集されたものであるが、本出土品以外には込山D遺跡に槍先型尖頭器の出土があるが、詳細は不明である。

縄文時代の遺構・遺物では早期押型文系の土器が坂城地区の和平A遺跡や平沢遺跡で採集されている。また、平成12年度に発掘調査が実施された坂城地区の込山C遺跡（30-3）からも押型文系の土器片が少量出土しているが、これらは現在整理中である。この他に縄文時代前期・中期の土器も出土している。後期・晚期では、学術的にも有名な保地遺跡が挙げられる。保地遺跡は昭和40年度と平成11年度に発掘調査が実施されている。前者は縄文時代後期後半から晩期後半までの土器・石器群と、後期後半に属するとされる特殊儀礼的遺構の検出が『考古学雑誌』に報告されている（関 1966）。後者については、縄文時代晩期に位置づけられる再葬墓が検出されており、中でも約19個体分の人骨が埋葬された2号墓址が注目される。その他、坂城地区の込山D遺跡（30-4）から昭和初期に採集された遮光器土偶の頭部がある。

弥生時代では、中期以前の調査例がないため状況は不明である。後期後半では、平成5年度に南条地区の塚田遺跡（1-7）で発掘調査が実施され、この時期に属する竪穴住居址36棟をはじめとする遺構が検出され、土器、石器、土製品、及び鉄製品が出土している。

古墳時代では、前期古墳は確認されていないが、中期古墳には中之条地区的仮称東平1号墳・2号墳が挙げられる（註1）。これらは、平成5年度に実施された上信越自動車道建設に伴う発掘調査で、埴輪や土器などの出土品から、1号墳は5世紀第2四半期後半、2墳は5世紀第2四半期前半に位置づけられた（若林 1999）。後期古墳では、町内いくつかの古墳群の存在が知られているが、中でも代表的なものは村上地区の福沢古墳群小野沢支群に属する御厨社古墳である。埋葬施設に千曲川水系最大級の横穴式石室を持ち、全

長112mを測り、勾玉や切子玉、耳環などが出土している。古墳時代後期の集落址は町内においても多く検出され、特に環状に土器が配列された祭祀遺構が検出された南条地区の青木下遺跡（1-8）が注目される。

奈良時代・平安時代の遺跡では、中之条地区の中之条遺跡群（8）とその周辺遺跡に多くの調査例があり、この地域における奈良・平安時代の状況が徐々に解明されつつある。具体的には、寺浦遺跡（8-1）、上町遺跡（8-2）、東町遺跡（8-3）、宮上遺跡（8-5）、北川原遺跡（8-6）、豊饒堂遺跡（20）、開鉱遺跡（21）で調査が実施され、古墳時代後半～平安時代までの集落址が判明している。また、平安時代の生産遺跡として坂城地区の土井ノ入窯跡（32）があり、瓦の生産が行われていたことが判明し、本遺跡で生産された瓦は、現在の坂城小学校がある場所に8世紀末～9世紀頃に存在していたとされる込山廃寺（54）に用いられたほか、上田市信濃国分寺・国分尼寺、千曲市正法廃寺の補修用の差し瓦として使用されていたことが判明している。

平安時代後期、寛治8年（嘉保元）（1094）に村上地区に配流されてきた源盛清が後に村上氏として勢力をを持つようになり、戦国時代には村上義清が活躍するようになった。義清の頃、村上氏の居館は現在の坂城地区的満泉寺一帯に所在したとされ、その背後にそびえる葛尾山の山頂には、義清が使用した葛尾城跡（44）がある。このほか、中世の遺跡では坂城地区的観音平経塚（55）をはじめとする経塚と中之条地区的開鉱製鉄遺跡（53）がある。観音平経塚は昭和54年と平成4年に調査が行われたが、平成4年の調査では、経塚の年代は14世紀第2四半期とされ、その周辺の五輪塔群の造営時期は14世紀第2四半期から16世紀前半頃に位置づけられている（若林1999）。開鉱製鉄遺跡は、昭和52・53年に坂城町教育委員会によって学術調査が実施され、16世紀頃の製鉄炉址2基が確認されている。この調査は県内初の製鉄遺跡の学術調査として学史に位置づけられるものであった。

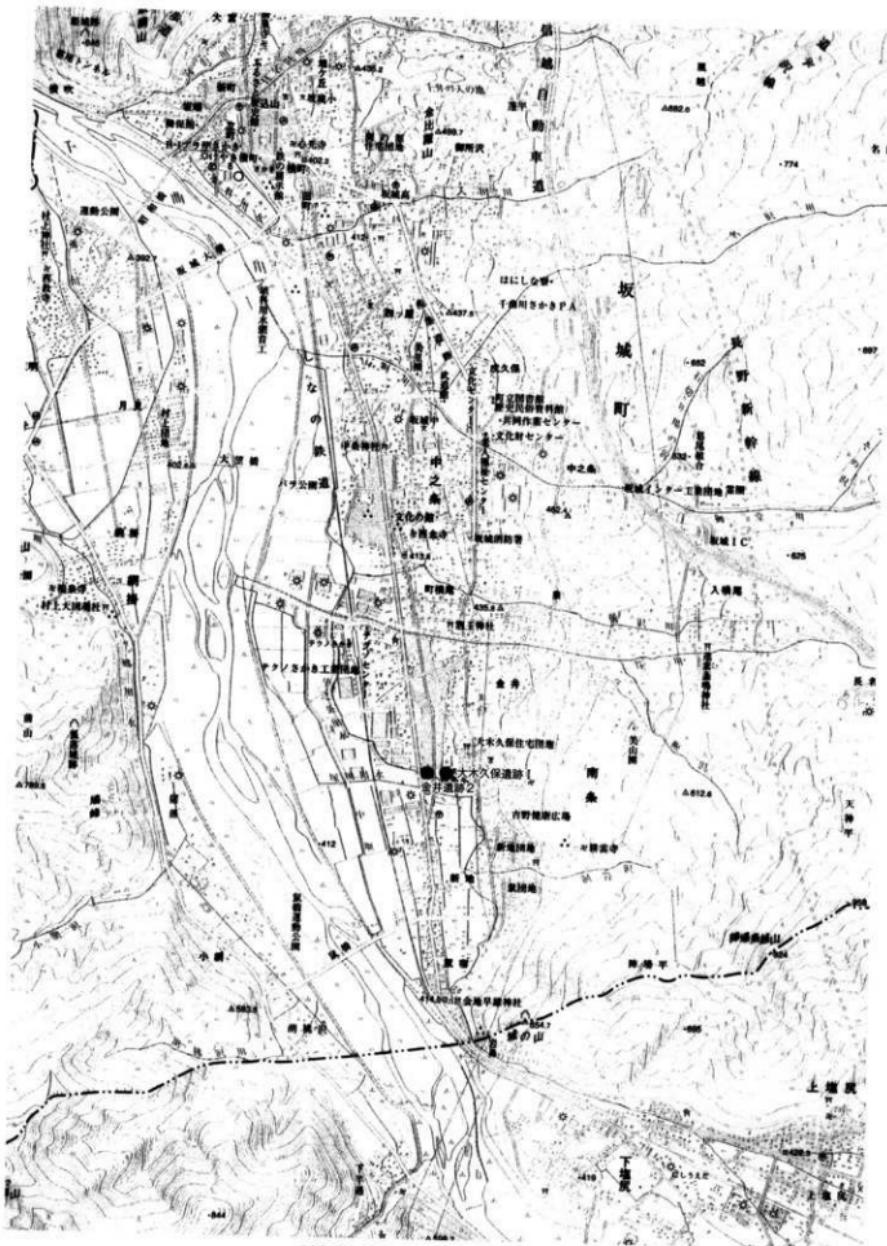
江戸時代に入ると、現在の坂城地区を主体とする坂木村、中之条地区を主体とする中之条村には幕府の代官所が置かれ、以後明治維新まで天領として支配された。このことから、この地域を重要視していたことが看取される。代官所は最初、坂木（61）に置かれたが、明和4年（1767）に焼失し、その後、安永8年（1779）には中之条に代官所が置かれるようになった。

以上、近世までの坂城町の歴史を概略した。

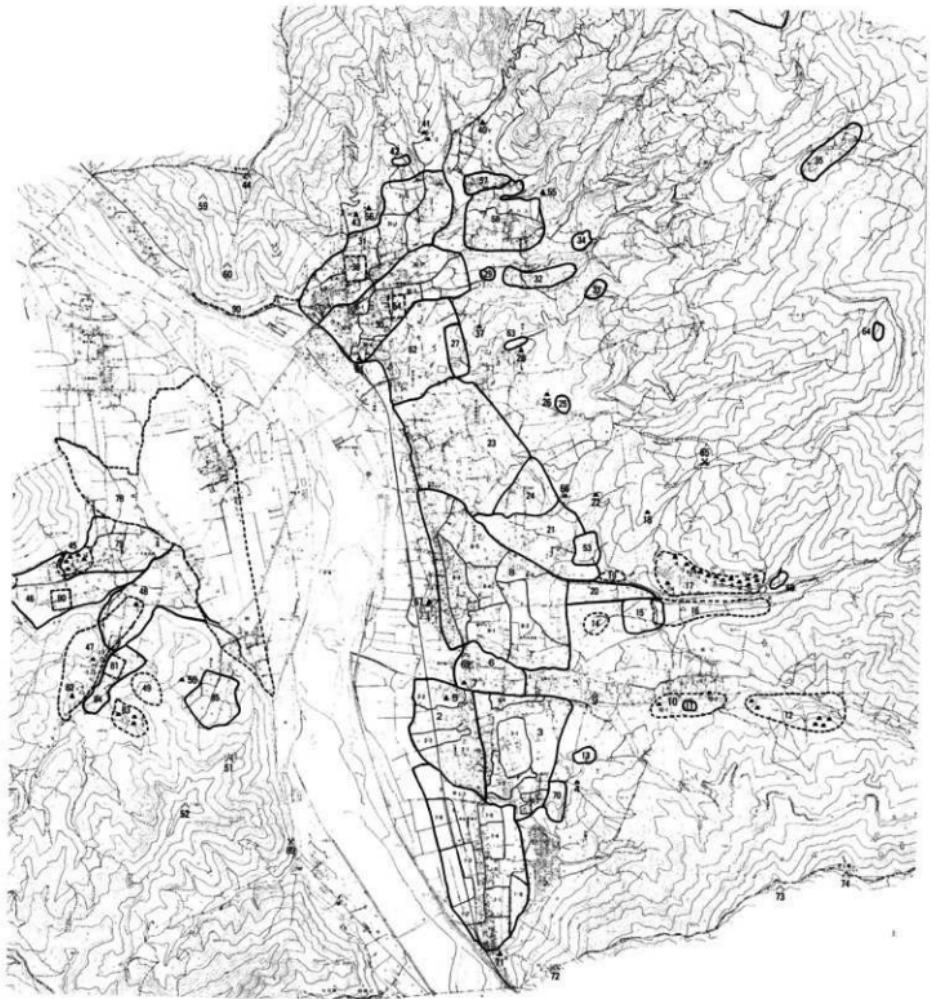
註1 周知の御堂川古墳群東平支群1号墳・2号墳とは異なる可能性があるため、仮称とされている。今後、正式な古墳名称の確定が必要である。

#### 参考文献（五十音順・敬称略）

- 坂城町教育委員会 1978『開鉱製鉄遺跡－第1次調査報告』 1979『開鉱製鉄遺跡－第2次調査報告』 1993『宮上遺跡』 1995『東高遺跡』 1996『豊饒堂遺跡・上町遺跡・寺裏遺跡・東町遺跡』 1996『寺浦遺跡II』 2000『開鉱遺跡III』 2001『宮上遺跡I・II・III・IV』 2002『保地遺跡II』
- 岡 孝一 1966『長野県坂井郡保地遺跡発掘調査概報』『考古学雑誌』第51巻第3号
- 森崎 徹ほか 1981『坂城町誌』中巻 歴史編（-）
- 柳沢 亮 1998『第5節 開鉱遺跡』『北陸新幹線滋賀文化財発掘調査報告書2』（財）長野県福蔵文化財センター
- 若林 卓 1999『第9章 東平古墳群』『第11章 観音平経塚』『上信越自動車道滋賀文化財発掘調査報告書21』（財）長野県福蔵文化財センター



### 試掘調査位置図 (1 : 25,000)



坂城町遺跡分布図

国際番号	道 路 名	種 別	時 代
1	南北道路群	高架地	平安~平安
-1	南北道路群 東高架道	高架地	平安~平安
-2	南北道路群 御堂高架道（氣室）	高架地	平安~平安
-3	南北道路群 百々目利道路	高架地	物生~平安
-4	南北道路群 中町道路（新地）	高架地	物生~平安
-5	南北道路群 田中通路	高架地	物生~平安
-6	南北道路群 四日通路	高架地	物生~平安
-7	南北道路群 墓山通路（信濃）	高架地	物生~平安
-8	南北道路群 青木下通路	水田並、保肥地	物生~平安
2	金井西道路群	高架地	純文~平安
-1	金井西道路群 金井通路	高架地	純文~平安
-2	金井西道路群 石宮神明神社（金井町）	高架地	純文~平安
-3	金井西道路群 木下上通路	高架地	純文~平安
3	金井東道路群	高架地	純文~平安
-1	金井東道路群 張池通路	高架地	純文~平安
-2	金井東道路群 山上井通路	高架地	純文~平安
-3	金井東道路群 大久保通路（南島小学校敷地）	高架地	純文~平安
-4	金井東道路群 玉道通路	高架地	純文~平安
4	尾ノ谷古墳	古 墓	古墳
5	社家神社跡	社	古 墓
6	町横尾通路	敷地地	純文~平安
7	北堀古墳	古 墓	古墳（後期）
8	中之庄道路群	高架地	純文~平安
-1	中之庄道路群 今浦通路	高架地	純文~平安
-2	中之庄道路群 上河通路	高架地	物生~平安
-3	中之庄道路群 寺町通路	高架地	物生~平安
-4	中之庄道路群 北浦通路	高架地	純文~平安
-5	中之庄道路群 宮上通路	高架地	純文~平安
-6	中之庄道路群 北川原通路	高架地	純文~平安
9	南堀穴六古墳（穴六古墳）	古 墓	古墳（後期）
10	谷田古墳群	古 境	古墳（後期）
-1	谷田古墳群 入林尾支群 向田古墳	古 墓	古墳（後期）
-2	谷田古墳群 入林尾支群 芦摩古墳	古 墓	古墳（後期）
11	入隅通路	敷地地	平安
12	谷田古墳群 上原支群	古 墓	古墳（後期）
13	荒原基壠群	基 壁	中世~近世
14	御前川古墳群 山口古墳	古 墓	古墳（後期）
15	山通路	敷地地	純文
16	御前川古墳群 山崎支群	古 墓	古墳（後期）
17	御前川古墳群 斜山古墳	古 墓	古墳（後期）
-1	御前川古墳群 斜山古墳	古 墓	古墳（後期）
-2	御前川古墳群 斜山古墳	古 墓	古墳（後期）
-3	御前川古墳群 斜山古墳	古 墓	古墳（後期）
-4	御前川古墳群 斜山古墳	古 墓	古墳（後期）
-5	御前川古墳群 斜山古墳	古 墓	古墳（後期）
-6	御前川古墳群 斜山古墳	古 墓	古墳（後期）
-7	御前川古墳群 斜山古墳	古 墓	古墳（後期）
-8	御前川古墳群 斜山古墳	古 墓	古墳（後期）
-9	御前川古墳群 斜山古墳	古 墓	古墳（後期）
-10	御前川古墳群 白山10号墳	古 墓	古墳（後期）
-11	御前川古墳群 白山11号墳	古 墓	古墳（後期）
-12	御前川古墳群 白山12号墳	古 墓	古墳（後期）
-13	御前川古墳群 白山13号墳	古 墓	古墳（後期）
-14	御前川古墳群 白山14号墳	古 墓	古墳（後期）
18	御前川古墳群 斜山支群 二摩古墳	古 墓	古墳（後期）
19	御前川古墳群 山崎支群	古 墓	古墳（後期）
20	豊郷通路（山崎古通路）	高架地	純文~平安
21	開闢通路	築 地	物生~平安
22	人頭古墳	古 墓	古墳（後期）
23	寺ノ谷通路群	高架地	純文~平安
24	戊丸通路	敷地地	純文~平安
25	入田通路	敷地地	物生~平安
26	塙内古墳（廻所沢古墳）	古 墓	古墳（後期）
27	金光山通路	敷地地	純文~平安
28	平手筋通	筋 道	中世
29	向の原古墳	古 墓	平安
30	山川通路群	高架地	純文~平安
-1	山川通路群 丹山A通路（水上）	高架地	純文~平安
-2	山川通路群 丹山B通路（社前）	高架地	純文~平安
-3	山川通路群 丹山C通路（込山）	高架地	純文~平安
-4	山川通路群 丹山D通路（柳原）	高架地	純文~平安
-5	山川通路群 丹山E通路（立町）	高架地	純文~平安
31	日名川通路群	高架地	物生~平安
-1	日名川通路群 日名沢通路	高架地	物生~平安
-2	日名川通路群 少山通路	高架地	物生~平安
32	土井ノ入粟路	古 墓	純文~平安
33	平利通路	敷地地	純文

国際番号	道 路 名	種 別	時 代
34	畠外家庭	高 枝	平安
35	平沢通路	敷地地	純文
36	和平通路群	高架地、敷地地	純文~平安
-1	和平通路群 和平八通路	高架地	純文~平安
-2	和平通路群 和平9通路	敷地地	物生
37	和平通路群 和平C通路	高架地	平安
38	村上兵船跡	城郭跡	中世
39	馬の背通路	敷地地	古 墓
40	北日名通路	路 道	中世
41	北日名古六谷境	古 境	古墳（後期）
-1	北日名古六谷境	古 境	古墳（後期）
-2	北日名古六谷境	古 境	古墳（後期）
42	傳ノ木通路	敷地地	純良
43	南田家跡	城郭跡	中世
44	鬼尾城跡	城郭跡	中世
45	出浦沢古墳群	古 境	古墳（後期）
-1	出浦沢古墳群 出浦沢支群	古 境	古墳（後期）
-2	出浦沢古墳群 出浦沢支群2号墳	古 境	古墳（後期）
-3	出浦沢古墳群 出浦沢支群3号墳	古 境	古墳（後期）
-4	出浦沢古墳群 出浦沢支群4号墳	古 境	古墳（後期）
-5	出浦沢古墳群 出浦沢支群5号墳	古 境	古墳（後期）
-6	出浦沢古墳群 出浦沢支群6号墳	古 境	古墳（後期）
-7	出浦沢古墳群 矢島2号墳	古 境	古墳（後期）
46	鳥道跡	高架地	物生~平安
47	桜沢古墳群	古 境	古墳（後期）
-1	桜沢古墳群 小野穴支群1号墳（御園社古墳）	古 境	古墳（後期）
-2	桜沢古墳群 小野穴支群2号墳	古 境	古墳（後期）
-3	桜沢古墳群 小野穴支群3号墳（ヤッカラ古墳）	古 境	古墳（後期）
-4	桜沢古墳群 小野穴支群4号墳	古 境	古墳（後期）
48	小野穴支群	高架地	物生~平安
49	桜沢古墳群 越生支群	古 境	古墳（後期）
50	御泉寺古墳群	古 境	古墳（後期）
51	狐塚城跡	城郭跡	中世
52	三木城跡	城郭跡	中世
53	鶴間製陶通路	製鐵跡	中世
54	山岸南古墳	帝釈院	平安
55	鎌谷平野原	絆 原	中世
56	南田小治治跡	城郭跡	中世
57	鬼之庭古墳	高架地	純良~平安
58	南日名古墳	高架地	物生~平安
59	鬼尾城跡	城郭跡	中世
60	姫路跡	城郭跡	中世
61	御代水通路群	屋敷跡	近世
62	田町通路群	敷地地	古墳~平安
63	御所沢塙跡群	塙 蔊	中世
64	御平城跡	城郭跡	平安
65	中之条石切通路	御園跡	近世
66	波汎古墳	古 境	古墳（後期）
67	中之条古通路群	屋敷跡	近世
68	成坂家庭	富 塚	平安
69	鶴間飯塚跡	城郭跡	中世
70	南郷の通路（吉賀寺跡）	敷古寺跡脱院	純良~中世
71	口留茅ヶ原跡	屋敷跡	近世
72	和会城跡	城郭跡	中世
73	高マツヤマ跡	城郭跡	中世
74	虚空蔵山城跡	城郭跡	中世
75	地蔵式供養塚保津跡	浮城跡	近世
76	難波通路	敷地地	平安
77	出浦通路	城郭跡	中世
78	上三郷引水田址	水田址	平安~近世
79	出浦通路	高架地	純文~平安
80	村上氏井跡	城郭跡	中世
81	桜沢古村跡	城郭跡	中世
82	小野沢式井跡	富 塚	御良~平安
83	桜沢古墳群	古 境	古墳（後期）
-1	桜沢古墳群 五坂北1号墳	古 境	古墳（後期）
-2	桜沢古墳群 五坂北2号墳	古 境	古墳（後期）
-3	桜沢古墳群 五坂北3号墳	古 境	古墳（後期）
84	宝宿通路	高架地	純文~平安
85	網掛川通路	高架地	物生~平安
86	紀紀跡	御紀跡	平安
87	鳥夷御城跡	御城跡	近世
88	鳥マガシ御浮舟跡	御園跡	近世
89	上平賀御御浮舟跡	御園跡	近世
90	横次化園御通路	御園跡	近世

## 第Ⅱ章 試掘調査の結果

### 1 金井遺跡2

所在地 坂城町大字南条6028-1他  
事業主体 (株)セブンイレブン・ジャパン  
事業名 店舗建設事業  
調査期間 平成25年4月11日  
面積 1,871m<sup>2</sup> (126m<sup>2</sup>)  
担当者 時信 武史

#### 遺跡の環境と調査にいたる経緯

金井遺跡は、坂城町大字南条に所在する縄文時代から平安時代にかけての集落址である。平成15年に工場建設に先立って試掘調査が実施されたが、遺構などは確認できなかった。

今回、(株)セブンイレブン・ジャパンによる店舗建設事業が計画され、遺跡の状況を確認するために試掘調査を実施することとなった。

#### 調査の成果

今回の計画地は、谷川の形成する扇状地の扇端付近に位置している。店舗建設予定箇所は農協の店舗が存在した場所で、解体時の立会調査で搅乱された状況が確認できた。このため場所をずらして東西及び南北方向に試掘トレンチを2か所設定し、遺構の有無を確認した。

1号トレンチでは遺構等は確認できなかつた。2号トレンチでは現地表面から0.8m掘り下がったところ、黄褐色の地山層を確認面として住居址2棟等が確認された。



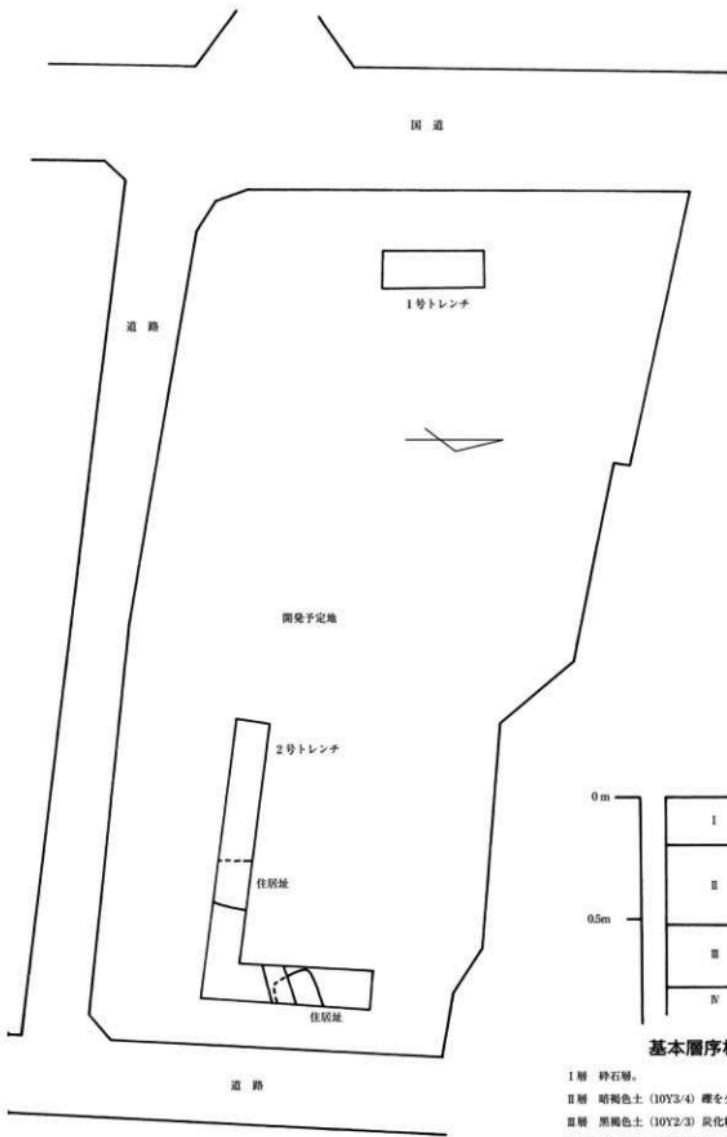
試掘調査位置図 (1 : 2500)



1号トレンチ検出状況 (南より)



2号トレンチ検出状況 (南より)



試掘トレンチ設定図 (1 : 400)

## 2 大木久保遺跡 I

所在地 坂城町大字南条2036他

事業主体 坂城町

事業名 小学校改築事業

調査期間 平成25年10月15日～

平成25年11月5日

面積 23.970m<sup>2</sup> (669m<sup>2</sup>)

担当者 時信 武史

### 遺跡の環境と調査にいたる経緯

大木久保遺跡は坂城町大字南条に所在し、

西方向に流下する谷川の扇状地の扇端付近、

標高約415m付近に位置する。「坂城町遺跡分布図」によると縄文～平安時代の集落址とされている。平成13年に宅地造成事業に先立って試掘調査を実施したが、遺構等は確認できなかった。

今回、坂城町による小学校改築事業が計画され、遺跡の状況を確認するために試掘調査を実施することになった。

### 調査の成果

新校舎の配置計画にそって、12箇所のトレーンチを設定し、遺構の有無を確認した。1号トレーンチでは地表面から約1m掘り下げたところ、住居址と思われる遺構1基を検出した。2号トレーンチでは地表面から約2.1m掘り下げたところ、土坑1基を検出した。3号トレーンチでは地表面から約0.7m掘り下げたところ、住居址と思われる遺構1基を検出した。7号トレーンチでは地表面から約1.4m掘り下げたところ、住居址と思われる遺構1基を検出した。9号トレーンチでは地表面から約1.9m掘り下げたところ、土坑2基を検出した。12号トレーンチでは地表面から約1.8m掘り下げたところ、住居址と思われる遺構1基、土坑1基を検出した。4号・5号・6号・8号・10号・11号トレーンチからは遺構は検出されなかった。

調査の結果を踏まえて、記録保存のための本調査を実施することとして調査を終了した。



試掘調査位置図 (1 : 2500)



1号トレーンチ検出状況（南東より）



2号トレーンチ検出状況（北より）



3号トレンチ検出状況（南より）



6号トレンチ検出状況（北より）



7号トレンチ検出状況（北西より）



8号トレンチ検出状況（北東より）



9号トレンチ検出状況（北西より）



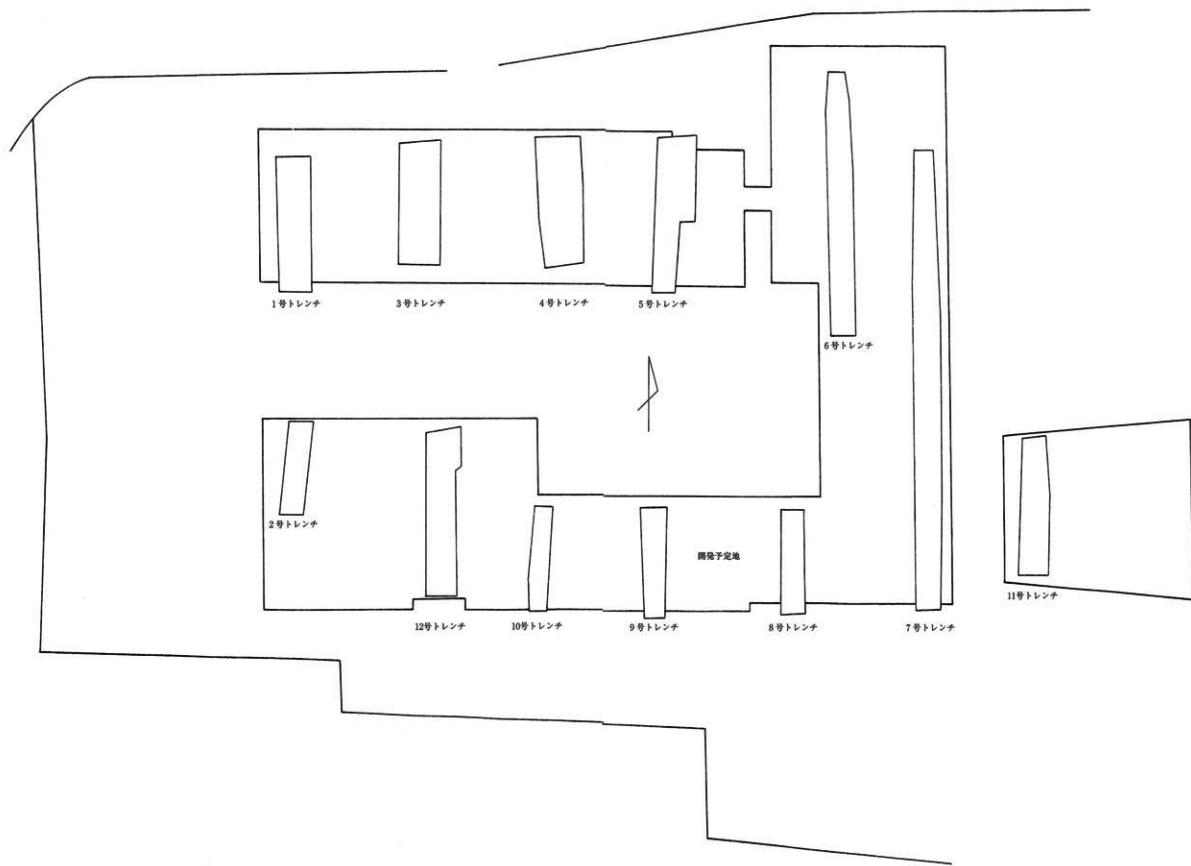
10号トレンチ検出状況（南西より）



11号トレンチ検出状況（北西より）

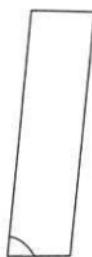


12号トレンチ検出状況（北東より）

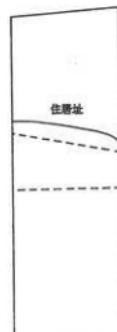




1号トレンチ



2号トレンチ



3号トレンチ



4号トレンチ



5号トレンチ

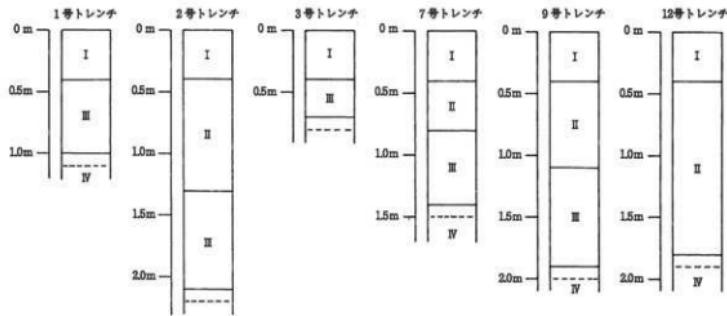
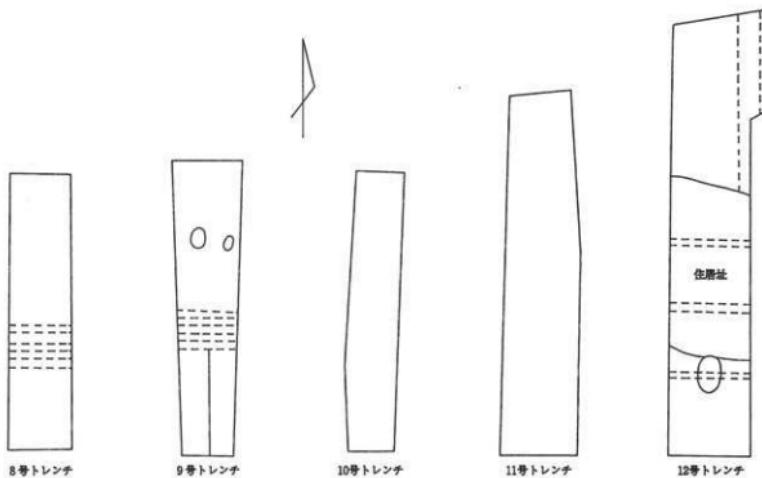


6号トレンチ



7号トレンチ

試掘トレンチ図 (1 : 200)



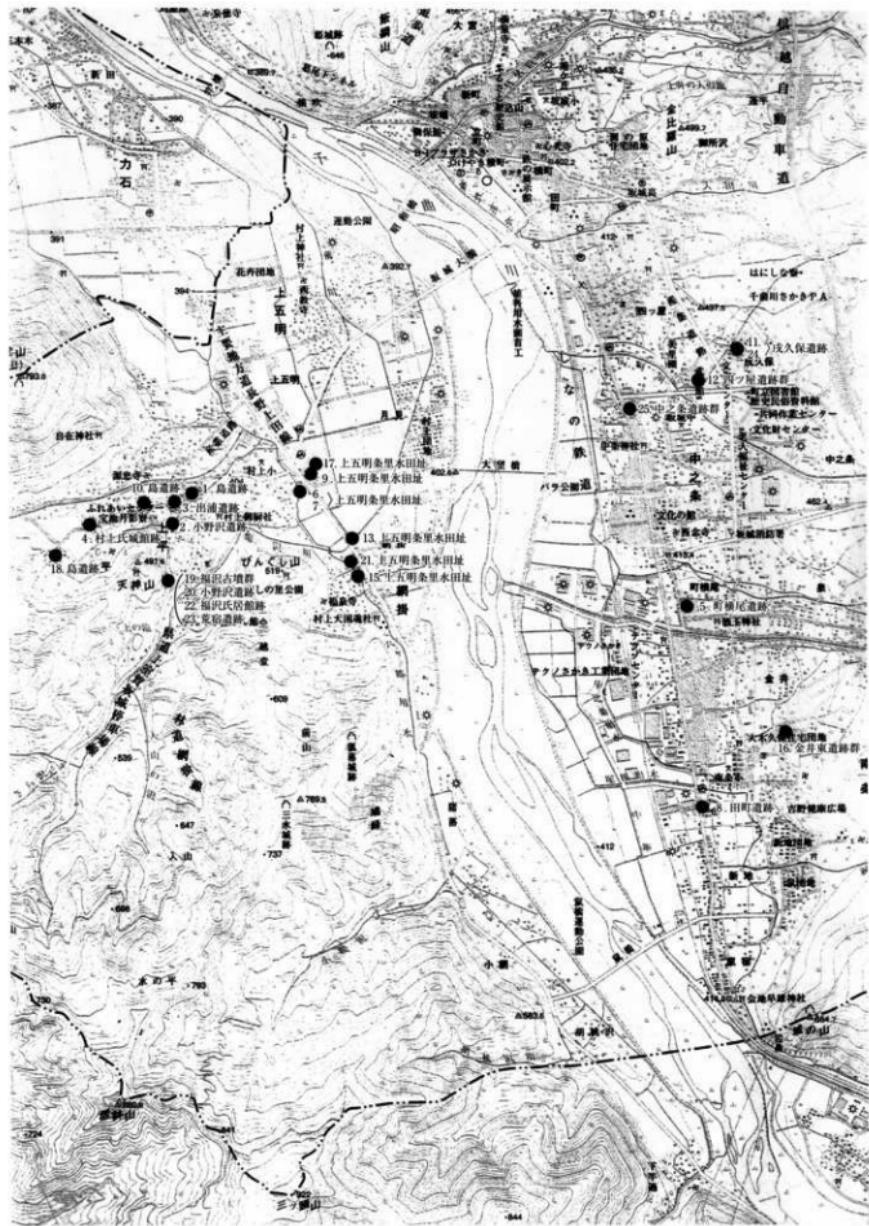
基本層序模式図

- I層 グラウンド盤地層。
- II層 造成土層。
- III層 黒褐色土 (10Y2/3) 炭化粒・礫を多く含む、鉢底層。
- IV層 黄褐色土 (10Y5/6) 砂礫土、地山層。

試掘トレンチ図 (1 : 200)

### 第三章 立会い調査の結果

No.	遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業名	開発面積 (㎡)	調査期間
1	島遺跡	坂城町建設課	村上	下水管埋設	700	H25年4月22日～ H25年9月13日
2	小野沢遺跡	坂城町建設課	村上	下水管埋設	350	H25年4月22日～ H25年9月13日
3	出浦遺跡	坂城町建設課	村上	下水管埋設	300	H25年4月22日～ H25年9月13日
4	村上氏城館跡	坂城町建設課	坂城	下水管埋設	100	H25年4月22日～ H25年9月13日
5	町横尾遺跡	個人	南条	個人住宅建設	247	H25年5月13日～ H25年9月16日
6	上五明条里水田址	個人	村上	個人住宅建設	154	H25年6月11日～ H25年9月20日
7	上五明条里水田址	個人	村上	個人住宅建設	153	H25年6月11日～ H25年9月20日
8	田町遺跡	株式会社不二家	南条	広告塔建設	1	H25年6月20日～ H25年6月26日
9	上五明条里水田址	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	20	H25年7月1日～ H25年12月20日
10	島遺跡	個人	村上	個人住宅建設	262	H25年8月1日～ H25年10月1日
11	戌久保遺跡	株式会社天田不動産	坂城	宅地造成	874	H25年8月1日～ H25年8月30日
12	四ツ屋遺跡群	社会福祉法人坂城福祉会	坂城	老人ホーム建設	2,982	H25年9月1日～ H26年2月28日
13	上五明条里水田址	国際石油開発帝石株式会社	村上	パイプライン埋設	36	H25年10月1日～ H25年11月30日
14	谷川古墳群	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	7	H25年9月24日～ H26年3月28日
15	上五明条里水田址	個人	村上	個人住宅建設	246	H25年10月16日～ H26年2月28日
16	金井東遺跡群	個人	南条	個人住宅建設	366	H25年11月25日～ H26年3月20日
17	上五明条里水田址	個人	村上	個人住宅建設	302	H25年11月15日～ H26年2月15日
18	島遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	60	H25年12月2日～ H26年3月31日
19	福沢古墳群	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	55	H25年12月2日～ H26年3月31日
20	小野沢遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	65	H25年12月2日～ H26年3月31日
21	上五明条里水田址	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	70	H25年12月2日～ H26年3月31日
22	福沢氏居館跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	50	H25年12月2日～ H26年3月31日
23	荒宿遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	60	H25年12月2日～ H26年3月31日
24	戌久保遺跡	個人	坂城	個人住宅建設	232	H25年11月22日～ H26年4月16日
25	中之条遺跡群	KDDI 株式会社	中之条	携帯電話鉄塔建設	4	H25年12月9日～ H25年12月31日
26	上五明条里水田址	千曲建設事務所	村上	道路改良	326	H25年11月25日～ H26年3月31日
27	込山遺跡群	千曲建設事務所	坂城	河川改修	300	H25年11月25日～ H26年3月31日
28	宮上遺跡	株式会社桜井製作所	中之条	倉庫建設	229	H25年11月25日～ H25年12月25日
29	金井西遺跡群	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	22	H25年12月18日～ H26年3月31日
30	金井東遺跡群	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	48	H25年12月18日～ H26年3月31日
31	戌久保遺跡	上田水道管理事務所	坂城	配水管埋設	3	H25年12月18日～ H26年3月31日
32	上五明条里水田址	坂城町建設課	村上	下水管埋設	180	H26年1月6日～ H26年3月31日
33	島遺跡	坂城町建設課	村上	下水管埋設	120	H26年1月6日～ H26年3月31日



立会い調査位置図 (1 : 25,000)

報 告 書 抄 錄

ふりがな	さかきちょうないいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	坂城町内遺跡発掘調査報告書 2013
副書名	平成25年度試掘・立会い調査報告書
卷次	
シリーズ名	坂城町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第44集
編著者名	青木 昌也・時信 武史
編集機関	坂城町教育委員会
所在地	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城6362-1 TEL 0268-82-1109
発行年月日	2014年3月31日

所轄遺跡名	所在地	コード		北緯	東經	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村	遺跡番号					
金井遺跡2	坂城町大字南条	20521		36°26'05"	138°11'34"	2013年4月11日	126	店舗建設事業
大木久保遺跡3	坂城町大字南条	20521		36°26'05"	138°11'37"	2013年10月15日 2013年11月5日	669	小学校改築事業

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
金井遺跡2	集落址	縄文～中世	住居跡ほか	なし	
大木久保遺跡3	集落址	縄文～平安	住居跡、土坑	なし	

## 坂城町埋蔵文化財調査報告書

- 【開歎製鉄遺跡—第1次調査報告書】  
【開歎製鉄遺跡—第2次調査報告書】  
【東裏遺跡】  
【中之条遺跡群 宮上遺跡II】(概報)  
【南条遺跡群 塚田遺跡】  
第1集 【南条遺跡群 東裏遺跡II・青木下遺跡】 1994  
第2集 【町内遺跡発掘調査報告書】 1994  
第3集 【町内遺跡発掘調査報告書】 1995  
第4集 【南条遺跡群 塚田遺跡II】 1995  
第5集 【豊穣堂遺跡・上町遺跡・寺浦遺跡・東町遺跡】 1996  
第6集 【中之条遺跡群 寺浦遺跡II】 1996  
第7集 【中之条遺跡群 上町遺跡II】 1996  
第8集 【上五明条里水田址】 1996  
第9集 【町内遺跡発掘調査報告書1995】 1996  
第10集 【坂城町試掘調査・立会い調査報告書】 1996  
第11集 【町内遺跡発掘調査報告書1996】 1997  
第12集 【戊久保・町横尾遺跡】 1998  
第13集 【込山Bほか 発掘調査報告書 1997】 1998  
第14集 【町内遺跡発掘調査報告書1998】 1999  
第15集 【町内遺跡発掘調査報告書1999】 2000  
第16集 【開歎遺跡III】 2000  
第17集 【中之条遺跡群 北川原遺跡II】 2001  
第18集 【町内遺跡発掘調査報告書2000】 2001  
第19集 【中之条遺跡群 宮上遺跡 I・II・III・IV】 2001  
第20集 【金井東遺跡群 保地遺跡II】 2002  
第21集 【町内遺跡発掘調査報告書2001】 2002  
第22集 【町内遺跡発掘調査報告書2002】 2003  
第23集 【豊穣堂遺跡III】 2004  
第24集 【坂城町町内遺跡発掘調査報告書2003】 2004  
第25集 【坂城町内遺跡発掘調査報告書2004】 2005  
第26集 【坂城町内遺跡発掘調査報告書2005】 2006  
第27集 【込山遺跡群 込山C遺跡I・III】 2006  
第28集 【込山遺跡群 込山D遺跡I】 2007  
第29集 【坂城町内遺跡発掘調査報告書2006】 2007  
第30集 【南条遺跡群 青木下遺跡II・III】 2007  
第31集 【開歎遺跡IV】 2008  
第32集 【町横尾遺跡II】 2008  
第33集 【坂城町内遺跡発掘調査報告書2007】 2008  
第34集 【中之条遺跡群 上町遺跡IV・V】 2009  
第35集 【坂城町内遺跡発掘調査報告書2008】 2009  
第36集 【中之条遺跡群 寺浦遺跡IV】 2010  
第37集 【坂城町内遺跡発掘調査報告書2009】 2010  
第38集 【坂城町内遺跡発掘調査報告書2010】 2011  
第39集 【町横尾遺跡III】 2012  
第40集 【坂城町内遺跡発掘調査報告書2011】 2012  
第41集 【中之条遺跡群 寺浦遺跡V】 2013  
第42集 【中之条遺跡群 山口遺跡I】 2013  
第43集 【坂城町内遺跡発掘調査報告書2012】 2013  
第44集 【坂城町内遺跡発掘調査報告書2013】(本書) 2014

### 坂城町埋蔵文化財調査報告書第44集

### 坂城町内遺跡発掘調査報告書2013

発行日 2014年3月31日

編集者 坂城町教育委員会

〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城 6362-1

TEL 0268 (82) 1109

印刷者 信毎書籍印刷株式会社

〒381-0037 長野県長野市西和田1丁目30番3号

TEL 026 (243) 2105

